

ぐんまコミュニティー・ハイスクール 生徒研究成果発表会を行いました

12月15日（土）、本校体育館にて「平成30年度下仁田高校ぐんまコミュニティー・ハイスクール（GCH）生徒研究成果発表会」が30名のご来賓のご出席のもと、行われました。

本校は群馬県教育委員会より、地域に親しまれる高校づくりを目指した研究指定校として、「ぐんまコミュニティー・ハイスクール」に指定され4年目を迎えました。今年度も地域と連携した様々な活動を行ってきましたが、その研究成果を発表させていただきました。発表は11団体に及び、生徒たちは一生懸命発表してくれました。



○発表団体

(1)伝統文化の継承活動 (2)地域学習(1年生) (3)インターンシップ(2年生) (4)理科課題研究(3A)
(5)商業課題研究(3B) (6)家庭科課題研究(3C) (7)進路支援 (8)こんにやく手作り体験アシスタント
(9)外国語支援活動(下仁田小学校) (10)地域共生社会の創出 (11)荒船風穴プロジェクト

下仁田町教育委員会の茂木教育長様から「体験を通して学ぶことは知識を深める、これからも研究を継続して外部に発信してほしい」とご講評いただきました。これからも新たな地域社会を創っていく挑戦を続けたいと思います。

荒船風穴プロジェクト

8月25日・26日の二日間、世界文化遺産「富岡製糸場と絹産業遺産群」の登録4周年を記念した「シルク博in下仁田」と「第5回全国風穴サミットin下仁田」が同時開催され、全国から多数の方が下仁田町に集まりました。

8月25日（土）に下仁田町文化ホールで行われた開会式のオープニングでは、荒船風穴でガイドをしている本校生徒がオリジナルのテーマソングを披露しました。このテーマソングは本校の「荒船風穴プロジェクト」のメンバーと音楽教諭の大谷先生によって作られました。今夏の荒船風穴の現地ガイド終了後にも披露してきましたが、大勢の前で歌うのは初めてで緊張しましたが、集まった人たちには気持ちが伝わったと思います。その後下仁田町歴史館の秋池武館長が「世界遺産荒船風穴の実態と魅力」と題して基調講演され、本校生徒が荒船風穴のガイド活動について報告しました。翌26日（日）は「荒船風穴体感・解説ツアー」に県内外の約100人が参加しました。本校の荒船風穴プロジェクトのメンバーが案内、解説を行いました。

